

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2003

Vol-1

61



おれ行け!! 安全くん

「今年も、安全と環境

そしてコミュニケーション」の巻

●解説コーナー

「コスモスとは?」～ 建設業労働安全衛生マネジメントシステム ～

「低騒音型・低振動型建設機械」～ みなし機械の取扱いについて ～

●世の中 見たトコ勝負 VOL.1

「大人の××」

●NISHIO TOPICS

通信機器営業部も「ISO 9001」を取得しました!

インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それ行け!!

画 中村よしのぶ

安全くん

連載 その61

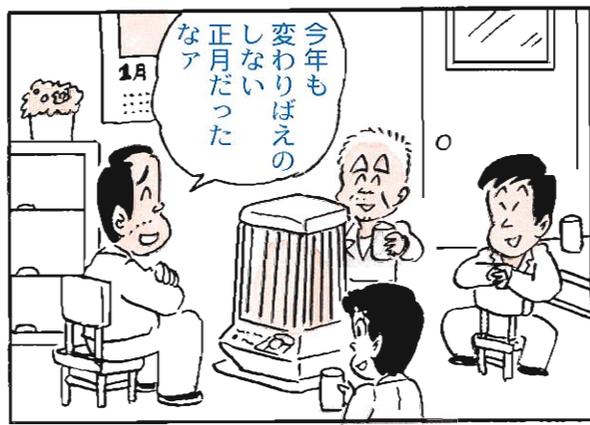
「今年も、安全と環境
そしてコミュニケーション」の巻



今年も
よろしく!



「安全くん」11年目を迎え、
一部リニューアル!



①表紙のデザインを新し、掲載内容が表紙でもわかるようにしました。
②「お父さんのためのトレンドウォッチング」を「世の中 見たトコ勝負」に変更しました。

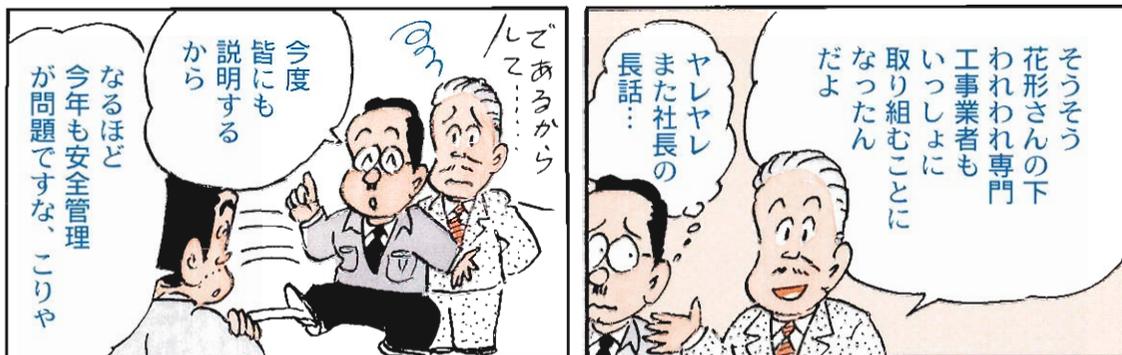


解説 コーナー 「コスモスとは？」～建設業労働安全衛生マネジメントシステム～ -その1-

- ◆厚生労働省では“労災の撲滅”に向かって、平成11年4月に「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」を公表しましたが、これを受けて建設業労働災害防止協会では、建設業も容易に取り組めるように、建設業版の労働安全衛生マネジメントシステム (Occupational Health and Safety Management System) のガイドラインを作成し、「COHSMS」(コスモス)として普及促進を図っています。
- ◆近年、労働災害は減少しているものの、大きな改善には至っておらず、従来の対策にも限界が見えはじめたことやベテランの安全担当者が徐々に減っており、折角のノウハウも伝承できない、という業界内の危機感が背景にあります。また、依然として安全衛生管理のレベルのバラツキや支店・作業所間、元請・専門工事業者間の意識の差も大きな問題として指摘されています。
- ◆このような背景から誕生した「COHSMS」ガイドラインでは、店社において必要な基本的事項として「安全衛生方針の表明」以下17の項目を、作業所においては「工事安全衛生方針の表明」以下11項目を挙げ、これによって自社・作業所にて検討していくことで、独自のシステムが構築できるようになっています。

※なにやら、このあたりで「こいつは難しそうだ!」とお思いのあなた。めげずに、続き(解説コーナー?)もお読みください。





解説コーナー 「コスモスとは?」～建設業労働安全衛生マネジメントシステム～ -その2-

- ◆ “システム” というと、ISOの品質管理システム9000sをイメージされる方も多いのでは? 実は、OHSMSも国際基準として世界共通のものになる動きがありました。各国の状況が異なるため、結局ILO (国際労働機関) のガイドラインとなったようです。つまり、考え方や進め方は、かなりISOに似ており、すでに9000sや14000sを取得もしくは取り組んでおられる企業には馴染みの有るシステムといえます。
- ◆ 簡単にいえば、「安全衛生の活動を事業者と社員のみなさんが協力し、店社と作業所が一体となって、システムを確立し、**①**(計画)→**②**(実行)→**③**(チェック)→**④**(改善)のサイクルで進めていくこと」ですが、従来の“災害の再発防止” から一歩進んで、事前に作業に潜む「危険・有害要因」を特定した上で、組織的・継続的にそのリスクの排除を行うものです。
- ◆ 業界をあげての取り組みとするために、建設業労働災害防止協会でも解説書の発行や研修会の開催を行っています。また、大手建設会社をはじめ数多くの企業がシステムを確立し、自社のみならず協会社をも含めた取り組みへと急ピッチに進み始めています。システムの詳細は、建災防のホームページなどをご覧ください。

※参考資料：建設業労働災害防止協会ホームページ (<http://www.kensaibou.or.jp/>)
建設労務安全 (労働調査会 発行 定期情報誌) (<http://www.chosakai.co.jp/>)



ガンさんのワンポイントレッスン

『システムとは、結果でなく プロセス＝こだわりと納得が必要だ!』

- ◆建設業界が伸びていた時期は、次から次へと仕事があったため、問題に足踏みすることなく、品質管理や安全活動も、「前に向かう・次に進む」ための手続きとしてとりあえず“こなしてきた”という企業も多いのではないのでしょうか。
- ◆しかし、最近ではISO国際基準による品質管理や環境保全のシステムを建設業界も取り入れ、一つ一つの仕事のプロセスが重視されるようになってきました。そこでは、細かく手法・手順がルール化され、それぞれの担当者が責任を持って役割を果たしていく仕組みになっています。そして、もしトラブルが発生したらすぐに関係者全体に告知され、皆でシステム・ルールなどの見直しと徹底を図っていきます。
- ◆今回、採り上げました「COHSMS」（コスモス）についても、大手ゼネコンと連携して構築、あるいは単独で策定している専門工事業者が増えてきました。職長の皆さんも、積極的にこれに関与して、経験に裏付けられた勘（こだわりをもって）を上手にシステムに組み込み、納得の上後輩たちに伝承して行って欲しいものです。専門工事業として品質管理や安全管理の面でも充実した体制を作り上げ、存在意義を高めるために、職長をはじめ、現場の皆さんの取り組みがますます重要になってきています。



SAFETY CHECK

セーフティチェック

バッテリーの冬季トラブル防止

建設機械、高所作業車から、最近では小型のハンドガイドローラやポータブル発電機にもセル付が登場してバッテリーを搭載しています。寒さの厳しい、シーズン特有のバッテリートラブルについて考えてみましょう。

□冬場に弱いバッテリーの特性

バッテリーは、低温では電解液の化学反応が鈍くなり、性能を発揮できません。冬場エンジンが冷めてかかりにくいので、セルモータを何度も連続して回してしまいバッテリーをあげてしまいます。あらかじめ前日にバッテリーに毛布などを掛けて保温しておくのと良いでしょう。屋内系高所作業車等オルタネータが無い機械は、通常よりもバッテリーの放電が早いので細かな充電をしてください。

□日常点検と充電のポイント

液量がUPPERとLOWERの間に液面がきているか確認し、減っていたら補水してください。バッテリー端子に緩みがないか、泥や油汚れは放電の原因となります掃除をしましょう。充電は急速充電器を使用するとバッテリーを傷め、寿命を早めてしまいます。充電しようとするバッテリー容量の10%以下の電流で時間をかけて充電、途中でガスが盛んに発生すると充電終期と判断できます。

※ご注意：充電は火気のあるところや密閉された場所で行わないでください。発生する水素ガスへの引火爆発の原因となることがあります。





あつわかった!
あれでしょう。
この前、あるガード
マンさんが表彰
されたって話



でも
何か怪しい
な……? ?



ハイ
車が入りますヨ



あの元気な
ガードマンさんだろう
今朝は
寒いぞすね
いつも住民へ
丁寧にあいさつ
したり、車の誘導も
通行する人を第一に
きびきびと指示していた



ああ
駅前プロジェ
クトの現場の
安全大会
じゃな



まあ、安全くんの
やましい気持ちは
ともかく、それは
いい話じゃないか

やましい
……



そんな
じゃ
ない!

そう、その時の副賞が
安田さんが欲しかった
ものら
しく……



SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

水ものは凍結ご用心!
～高圧洗浄機&散水車の安全～

寒い冬の朝、水道管が凍結により破裂するケースがありますが、建設機械や高圧洗浄機など水を使用する機械も凍結防止をしないとトラブルの原因となります。

□高圧洗浄機の水抜き

作業終了後、次の手順で水抜きを行ってください。①吸水ホースを外しホース内の水抜き運転を行います。②吐水ホースよりノズルを外してください。③エンジンを始動し、吐水ホースから水がでなくなるまでポンプを運転します。ただし1分間以上空運転はしないでください。エンジンは始動時の暖気運転をお忘れなく。

□散水車・ローラ関係のトラブル防止

散水用の配管に残った水が凍結し水詰まりや配管破裂の恐れがあるので、ドレンコックを開き配管の水を完全に抜いてください。終業時、燃料タンクを満タンにしておかないと、空気中の水分が水滴になり燃料パイプ内で凍結し、燃料が詰まるケースもあるので注意しましょう。

※寒さによるトラブル防止に作動油を寒冷地用に入替える場合、シーズン以外は規定の作動油に戻してください。寒冷地用は粘度が通常よりも薄いので、焼き付けや作動不良を招く恐れがあります。

